

ほんわ館まつり

11月6日、「ほんわ館まつり」が開催されました。

くじ引きの要領で鍋から出たひもをひき、ひもに結び付けられた本を借りる「本の闇鍋」コーナーに訪れた庄司彩音さん（長崎小4年）・琴音さん（同小2年）、松田小英さん（同小3年）は、「自分ではなかなか選ばない本が出てきたので、家に帰ってゆっくり読みたい」と笑顔で話していました。

絵本作家 真珠まりこさんによる講演会「もったいないばあさんのおはなし会」では、真珠さん自ら自身の代表作「もったいないばあさん」シリーズの絵本の読み聞かせを行いました。



鍋の中から出てきた本を読む「本の闇鍋」



自身の作品を読み聞かせする真珠さん



絵本作家 真珠まりこさん(代表作:「もったいないばあさん」シリーズ)による講演会の様子

かせを行い、「もったいないは、感謝の気持ちと思いやり、敬う心です。『大事な食べ物、ありがとう』という気持ちで残さないように食べましょう」と話しました。
ほかにも、絵本や紙芝居の読み聞かせや、破けてしまった本を修理するコーナーなども設けられ、内容に富んだイベントとなりました。

これまでご紹介したほんわ館のイベントなどをスタッフとともに支えているのが「ほんわ館ファン」の皆さんです。今回は、代表して高橋さんと石垣さんにお話を聞きました。

「ほんわ館ファン」は、ほんわ館のイベント・事業のサポートをするボランティア団体です。平成24年のほんわ館開館時から活動をはじめ、現在会員21名。年代も19歳から81歳まで幅広く参加しています。活動で心がけていることは、まずは自分たちが楽しむこと。例えば、絵本の読み聞かせでは、自分たちが面白い、みんなにも知ってほしいと思う本を紹介しています。お話を聞きに来てくれた子どもたちの笑顔を見ると「私たちの、楽しい」をおすそ分けできた」と嬉



ほんわ館ファン

左：高橋 稔子さん(梅ヶ枝町)

右：石垣 奈美さん(南小路)

「本は心の栄養。本との出会いで広がる世界を知ってほしいです」

しい気持ちになります。私たちにあって、本は心の栄養で、子どもとふれあうツールの一つだと思っています。本を通して共有する時間はかけがえのないもので、この時間を通して親子の絆を深めてほしいと思っています。また、読書は子どもの頃から習慣づけられるのが望ましいですが、私たち自身、大人になってから絵本に出会って世界が広がり、心が豊かになったように感じます。読書を始めると年齢は関係ありません。
ほんわ館はとっても楽しいところ。図書館というだけで疎遠にならずに気軽に立ち寄っていただけのように、また本を通して心豊かな人生を送れるよう、今後もお手伝いをしていきたいと思っています。

ほかにも、こんなことに利用されています



多目的室



ギャラリー



研修室(2階)

- 1 多目的室では、イベントの時には読み聞かせやワークショップ等催し物が行われています。なお、普段は小さいお子さんが遊べるよう開放しており、授乳室も備えています。
- 2 玄関から入ってすぐのところにギャラリーが設置されており、絵や写真などが展示できます。昨年の「春の本フェス」では、加茂水族館からミズクラゲもやってきて、小さな水族館になりました。
- 3 2階には、読書会や文芸活動を行うことができる研修室を3室設けています。利用希望の方はスタッフにご相談ください。

スタッフからお願い

5冊。これは、紛失などで図書館に返ってこなかった本の年間の平均冊数です。また、稀ではありますが、ページが破けていたり、食べ物などで汚れた本が返ってくることもあります。

5冊という数字は、他の図書館に比べたら少ない方なかもしれませんが、それでも、ほんわ館にある本のほとんどは、皆さんから納められた税金で購入したものです。その本が好きでまた読みたいと思っている人、返ってくるのを待っている人もいます。

ほんわ館の本はたくさんの方が利用するものですから、このようなことがないよう気を付けていただきたいと思います。「みんなの本」ということをもう一度意識していただくことで、このようなトラブルはきつと無くなります。故意に汚したのではなくても、必ずスタッフに申し出てくださいますね。

私たちスタッフも皆さんが気持ちよく利用できるようにお手伝いをさせていただきますので、皆さんにもさらにマナーを守っていただけて、いつまでも皆さんに読んでいただける1冊にしていきましょう。

スタッフ一同お待ちしております

開館時間 10:00~19:00

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)

(平成28年度年末年始休館は12月28日~1月3日です)

※お問い合わせ先

中山町立図書館ほんわ館 ☎662-6688

ホームページ

www.town.nakayama.yamagata.jp/honwakan/ こちらからも蔵書検索ができます。

